

令和2年度
1月号



六瑞小だより

令和3年1月8日発行
荒川区立第六瑞光小学校
校長 佐野 実
第341号

今日がたのしく 明日もうれしい 六瑞小

<http://www.aen.arakawa.tokyo.jp/DAI6ZUIKO-E/>

「六瑞っ子」の良さが発揮される時

校長 佐野 実

凜とした寒さの中、「おはようございます!」「あけましておめでとうございます!」と、子供たちの元気な挨拶があちらこちらから聞こえてくる、爽やかな3学期、始業式の朝となりました。

2学期の終業式の数日前、東京都教育委員会から「医療従事者の方々への感謝の気持ちを伝える取組」への協力依頼がありました。六瑞小では全学年でその活動に参加し、感謝のメッセージを書いて事務局に送りました。限られた時間での取組でしたが、1年生から6年生まで、どの子ども皆、感謝の言葉とともに「これからも自分たちにできること(マスクの着用、手洗い、消毒、いじめや差別に加わらない等)を続けます」と、それぞれの決意を自分の言葉で書いていました。子供たちはここまで感染予防対策をたいへんよく励行し、その素直さと柔軟さに感心させられることしきりです。

3学期の始業式ではこの基本的な行動の大切さをあらためて子供たちに伝えるとともに、もう一つ、私たちの心のあり方について話をしました。自分が感染した、あるいは身近な人が感染したときに、安心してお休みをすることができる、安心して再び戻ることのできる仲間がいる、その安心につながる理解、思いやり、心遣い、冷静な振る舞いこそが、この状況を皆で乗り越えていくために極めて大切なのだと思うという内容です。「思いやり」は、六瑞っ子が最も得意とするところです。今こそ、六瑞っ子の良さが発揮される時なのだと思います。

新しい年、新しい学期が始まりました。今できる努力を続け、健康・学習・友達を大切に次々の学年につなげる充実した3学期になるよう、気持ちも新たに力を合わせ、心を合わせて取り組んでまいります。

<1月の行事予定> *今後の状況によって、変更する場合があります。(1/8現在)

| 1 | 金 | 元日 | 17 | 日 | |
|----|---|-----------------------|-----|---|------------------------------------|
| 2 | 土 | | 18 | 月 | NEA 避難訓練 発育測定(3~6年) ★ 校内書初め展(始) |
| 3 | 日 | | 19 | 火 | 発育測定(1・2年・すずらん) |
| 4 | 月 | | 20 | 水 | 縦割り班活動 NEA 寺子屋(2年・5年) |
| 5 | 火 | | 21 | 木 | 歯・口の健康づくり事業(3・5年) ◎ |
| 6 | 水 | | 22 | 金 | 学力調査(1~5年) |
| 7 | 木 | 冬季休業日(終) | 23 | 土 | 土曜授業日 薬物乱用防止教室(6年) 校内書初め展(終) |
| 8 | 金 | 始業式 給食(始) 六ちゃんの日 | 24 | 日 | |
| 9 | 土 | | 25 | 月 | NEA 習字週間 日本芸能実演(全学年) ☆ |
| 10 | 日 | | 26 | 火 | |
| 11 | 月 | 成人の日 | 27 | 水 | 体育朝会 クラブ活動 寺子屋(3年・4年) |
| 12 | 火 | 安全指導 書写指導(3~6年) 委員会活動 | 28 | 木 | 南三幼交流会(5年) |
| 13 | 水 | なかよしデー 寺子屋(1年・6年) | 29 | 金 | |
| 14 | 木 | 席書会(3~6年) ◎ | 30 | 土 | |
| 15 | 金 | | 31 | 日 | |
| 16 | 土 | | 2/1 | 月 | |

◎:都スクールカウンセラー内藤先生 原則毎週木曜日

☆(午前)★(午後):区スクールカウンセラー高田先生

◆金管引継ぎ集会◆

12月16日(水)サンパール荒川にて、金管引継ぎ集会を行いました。引継ぎ式では、下級生の代表として、5年生が6年生に感謝の気持ちを伝えました。6年生は、一人一人が舞台の上で、金管マーチングバンド活動をとおして成長したことや学んだこと、これからの六瑞小金管マーチングバンドへの思いを伝えました。会の最後には、いつもたくさんの方々を支えられていることを一人一人が感じながら、全校で「スターウォーズ」の演奏、演技をしました。児童の心に残る温かい会となりました。

6年生は、今まで下級生にやさしく教えたり、励ましたりしてくれました。また、全体をまとめ、引っ張ってくれました。今回の金管引継ぎ集会をとおして、5年生へバトンをつなげることができました。5年生は、6年生の思いを引き継ぎ、これからの金管マーチングバンド活動に生かして行ってほしいと思います。



◆楽器体験◆

12月17日(木)、来年度に向けて、2・3年生が楽器体験をしました。マウスピースを初めて使う子供たちがほとんどでしたが、講師の先生方のお話を聞いて音を出すことが出来たので、「鳴った!」「けっこう出た」などの声が聞こえ、楽しみながら体験をすることができました。また、4・5・6年生の子供たちから、担当している楽器の持ち方や音の出し方などを優しく教わることができ、初めての楽器に対しても、「やってみよう」という気持ちで取り組みました。

◆文化芸術による子供育成総合事業 一巡回公演「囃子堂」◆

12月14日・15日に、京都能楽囃子堂同明会の皆様による能楽ワークショップと公演がありました。14日のワークショップでは、5・6年生が小鼓・大鼓の演奏を習いました。能楽は室町時代から日本に伝わる伝統芸能の一つで、演劇、舞(まい)、謡(うたい)、器楽(お囃子)によって成り立っている最古の日本版ミュージカルであり、能楽を楽しんでいた武士たちの緊張感ある所作を演奏の間やカケ声などからも感じ取れる総合芸術であるというお話を頂きました。また、能楽は、「礼に始まって、礼に終わる」というお話から、正式な能楽の正座の仕方、手の置き方、相手の心を押しかくように声を出して「よろしくお願ひします」と声を出す、「礼」を習いました。5・6年生の集中した小鼓の演奏練習では、右手は力を抜くこと、左手は鼓の表と裏の皮をつなぐ紐(調諸:しらべお)の持ち方を強く持つと高い音が出ること、弱く持つと低い音が出ること、その持ち方を打つタイミングで瞬時に変えていくことなど、ポン!と鳴る音の形が山型になる音を出すための技に挑戦しました。15日は、3年生以上が、参加して、能楽の歴史、楽器の紹介、5・6年生と囃子方の方々との「三番三」の共演、「早笛」「流し」の体験、「獅子」の鑑賞などをしました。最後に演奏された「獅子」の演奏では、笛(能管)の幽玄な音色、太鼓の演奏の静と動、囃子方の方々が掛け合うカケ声の合いの手の緊張感が、しんとした体育館の中に響き渡り、音の「間」を味わう貴重な体験となりました。

能楽の世界は、表現したい絵巻物があり、登場人物の気持ちが音となって浮かび上がりました。演奏者が醸し出す音と音との間に、なんとも言えない心地よい時間の流れが感じられました。

